

えん 寿東部地区 社会福祉協議会 広報誌 人

第13号
令和5年3月

「寿東部・各町内会長抱負」

連合掲示板

浦舟西 高木 正隆



万世 渡辺 真一



真金一 浅野 政一



浦舟東 関口 武



白妙一 森 貞一



高根西 高橋 健一



永楽 鈴木 富



高根東 山井 俊郎



白妙二 辻 武司



真金二 三木 安雄



南区民生委員・児童委員、主任児童委員 一斉改選がありました



退任者の声

長い間、誠にありがとうございました。

=お後がよろしいようで！=

多くの方々と出会い、学べた事に感謝しております。
退任しましたが、これまで学んできたことを生かし、
温かい地域づくりにお手伝いが出来ればと考えております。

寿東部地区 清水 都（9期 27年）



=私に出来た事！=

民生児童委員をお引き受けし6年。先輩に助けられて今日までやってこれ
ました。訪問活動では、毎月の訪問を待っていてくださる方がいらしたり、
色々なお話を聞く中、私自身もとても良い勉強をさせていただきました。
これからも何かお役に立てればと思っています。

寿東部地区 木村 みどり（2期 6年）

<民生委員・児童委員、主任児童委員とは>

地域の身近な相談相手として、住民からのさまざま
な生活上の困りごとや心配ごとについて、相談に応じ、
必要な支援を受けられるように、地域の専門機関との
つなぎ役となっています。

Q：どんな活動をしていますか？

A：大きく分けて、4つの活動をしています。

- ①高齢者・障がい者等の見守り
- ②サロンの開催・支援
- ③子育て支援
- ④関係団体との協力

Q：個人で活動しますか？

A：1人だけでなく、同じ民生委員の仲間と一緒に活
動することが多いです。困ったことがあれば、仲
間や関係機関に相談しています

*南区の民生委員・児童委員、主任児童委員

南区では、約259名の民生委員・児童委員が厚生
労働大臣から委嘱されました。

そのうち32名は主任児童委員といって、子どもや
子育てに関する支援を専門に担当しています。

身近だが、知ってるようで知らない

地元 横浜 再発見の旅！ 行ってきました！

テーマ：地元横浜再発見

南区役所====貸切バス====国道駅（昭和5年当時のままの戦争の弾痕が残る無人駅見学）

8：30配車//8：40出発 <11k30> 9：10ごろ着

国道駅+++鶴見線乗車+++海芝浦駅（海に浮かぶ秘境・遊歩道散策）+++弁天橋====

9：32発 9：41着 折り返し 9：56発 10：02着 <9k20>

大本山 総持寺（諸堂拝観：修行僧の説明を聞きながら歴史を物語る大名刹を巡る特別拝観）

10：30ごろ 11：00～12：00（諸堂拝観予約制） 12：10出発

和食すゝき（ご昼食）==臨港鶴見橋・下野谷町入口（左折）・神奈川2丁目（左折）・千若町（右折）==

<4k15> 12：30～13：30

コットン大橋（絶景）==北仲ノット（展望台フロアから市内を一望）====南区役所

<10k30> 14：00～14：30 <3k10> 14：45ごろ



国道駅



海に浮かぶ秘境駅



総持寺・百間廊下

国道駅

ここを目的に訪れる人々が絶えることがなく、鉄道ファンや旅人には名が知れており、黒澤明「野良犬」「華麗なる一族」など、映画・ドラマのロケ地として使用。

海芝浦駅

JR鶴見線で行く、まさに秘境駅。駅の真下がすぐに海になっており、本当に海に浮かんでいるような気分になります。

総持寺 百間廊下

過去の大火災を教訓に各建物との距離を近すぎないように離して建てられており、各建物とをつなぐのが廊下で、152mあるようです。修行僧の掃除が大変です。



ザ・タワー横浜北仲 46階

高さ200メートルの超高層タワーマンションの中にある、展望フロアです。

46階の1フロアをぐるっと1周でき、誰でも横浜の絶景を楽しむスポットです。無料なのでぜひ行ってみてください！

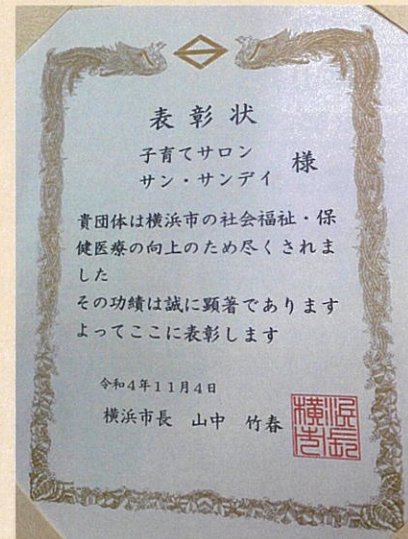
一般開放時間（9：00～22：00）

大人の“秘密基地”
発見？！

寿東部地区社会福祉協議会 子育てサロン「サン・サンディ」

市長表彰を受賞！

平成25年11月より「子育て中のママと子どもたちのほっと！とひといき、安心スパー」として活動してきましたが、令和4年11月4日、関内ホールにて、横浜市社会福祉・保健医療功労者市長表彰（ボランティア活動功労）を受賞しました。



編集後記

未だに、新型コロナウイルス感染拡大が続く中の8月、広報誌えんの担当を依頼されました。みんなで協議して作成するものと思いきや、「孤軍奮闘」の日々となりました。私からの突然の取材や原稿執筆依頼にも拘わらず、快くお引き受けくださり、ありがとうございました。

お陰様で何とか「広報誌」の形にすることが出来ました。次回はより多くの方々に関わっていただき、コロナ後に復活すると思われる、多くのイベントの記事を掲載し、「寿東部」の魅力を伝えていければと思っています。

(鈴木 富)